

ウ サ シ  
宇佐市



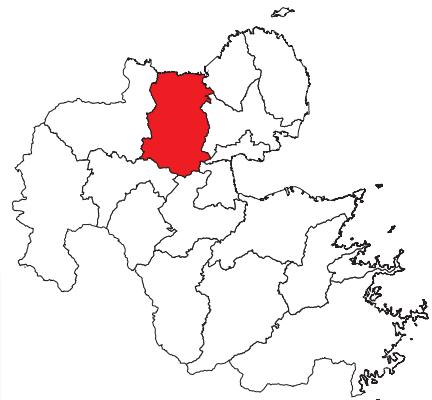
是永 修治 市長

R6.1.1 住民基本台帳人口：総人口…52,745人 男…25,111人 女…27,634人 世帯数…25,995世帯  
R6.1.1 総面積…439.05km<sup>2</sup> 公共施設数(令和4年度)：小学校…27校 中学校…7校  
出典：令和6年度版 大分県市町村ハンドブック

平素より当市の市政の推進にご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。現在宇佐市では、人口減少に歯止めをかけるべく、「第2期宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って地域課題の解決を図っているところでございます。宇佐市の目標である「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指し、さらなる発展に向け邁進してまいりますので皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

寄付  
御礼

- 贈呈式開催(ご要望に応じて検討させていただきます)
- 感謝状贈呈(寄付額100万円以上)
- 地公体広報誌掲載
- HP掲載
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紹綴褒章推薦
- その他(市公式SNSによる紹介)



## 新しい民間企業の技術・ノウハウを 積極的に活用したい政策課題・取り組み



## カテゴリー9 まちづくり

## 安心して暮らせる地域づくり

全国的に高齢化等が深刻化する中、宇佐市においても集落の過疎化、空き家の増加や各種施設の老朽化などなど、様々な課題を抱えており、様々な側面からの施策で状況の維持・改善を図っていく必要があります。



## カテゴリー4 児童福祉

## 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

宇佐市においても人口減少が進んでおり、特に出生数の低下が続いているのは大きな課題となっています。

出産祝い金等の各種経済支援、教育や給食の充実など、市民の皆様が安心して子育てができるような取り組みを継続していくことが大切と考えています。



## 第2期宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 4つの基本目標

基本目標

1

## 安心して働ける環境の創出

地域の特色を活かした産業の振興や競争力強化を図り、効果的に域外から稼ぎ、効率的に域内に富を循環させる地域経済構造の構築や設備投資等における支援を行うとともに、地域の産業や企業との連携等を中心に継続的な地域イノベーションの創出に取組む

基本目標

2

## 新しいひとの流れをつくる

地域と継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取組むとともに、企業や個人による寄附・投資等により、地方創生の取組への積極的な関与を促すなど、地方への資金の流れを創出するとともに、その拡大を図る

基本目標

3

## 安心して暮らせる地域づくり

まちの機能の充実や地域の特色ある資源を最大限に活かし、地域の活性化と魅力向上を図り、また地域において安心して暮らすことができるよう、医療・福祉サービス等の機能を確保し、生涯現役の社会づくりを推進するとともに、地域における防災・減災を図る

基本目標

4

## 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育て支援、仕事と子育ての両立に係る取組みの活用を促進するとともに、結婚の希望をかなえる取組みや子育てのサポート体制、男女の働き方などの少子化対策の取組みを推進する



## JR宇佐駅リニューアル事業

総事業費 4,472千円 寄附目標額 2,900千円

数値目標 ●駅周辺整備事業の進捗率…100%



〈SDGs〉関連するゴール

宇佐駅は、築 50 年以上経過し老朽化しており令和 7 年度に宇佐神宮御鎮座 1300 年を迎えることから、令和 4 年度に「宇佐駅の機能強化による地域・観光活性化推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、観光拠点駅である宇佐駅を魅力的かつ質の高い空間にリニューアルし、県内外からの観光客を誘客し観光活性化を図るとともに地域の賑わいを創出を目指しています。令和 6 年度は待合室及びトイレの改修設計業務を行い、令和 7 年秋までの完成を目指しています。



寄附の  
具体的な  
メリット

ご支援をいただくことにより、宇佐・国東半島の玄関口である宇佐駅が魅力的かつ質の高い空間にリニューアルされ、それに伴い駅利用者の利便性向上や観光活性化及び地域の賑わい創出が期待されます。

寄附申出書の事業名選択時は「安心して暮らせる地域づくり事業」を選択してください。



## 平和ミュージアム（仮称） 建設事業

〈SDGs〉 関連するゴール



総事業費 43,715千円 寄附目標額 —

数値目標 ●平和ツーリズム関連施設利用者数…183,000人

戦後 80 年近く経過し戦争の記憶が薄れつつある現在、戦争の記憶を語るのは、ヒトから遺跡や資料などのモノに代わってきています。市内に残る多くの戦争遺構は、「わたしたちのまちも戦場であった」ことの証であり、宇佐の歴史を語るうえでも欠く事の出来ないものです。

戦争の実相を知る体験者がいなくなる時代がやがて来る事をふまえ、宇佐市は平和ミュージアム（仮称）を建設し、戦争遺構と有機的につながるフィールドミュージアム構想の一刻も早い実現により、平和の大切さを後世に伝えることを目指しています。

寄附の  
具体的な  
メリット

ウクライナ侵攻やパレスチナ問題等、世界情勢が不安定である中、戦争の歴史を後世に伝えていくことは非常に大切なことであると考えています。平和の大切さと命の尊さを、宇佐の地から発信するためのこの取り組みにお力添えをいただけたらと思います。

寄附申出書の事業名選択時は「安心して暮らせる地域づくり事業」を選択してください。

●他の寄附事業に関しては、最寄りの大分銀行までお問い合わせください。